

法規 12問 } 24 問 1 時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 次の文は、電波法に規定する「無線局」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局とは、無線設備及び の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。」

1. 無線局を運用する者
2. 無線設備の操作を行う者
3. 無線通信を行う者
4. 無線設備の所有者

〔2〕 次の文は、ATCトランスポンダが、その航空機の航行中における通常の状態において合致しなければならない条件に関する無線設備規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「 からの質問信号を受信することによって、応答信号を自動的（特別位置識別パルスにあつては、手動により発射が開始されるものとする。）に送信することとなるものであること。」

- | | |
|--------|--------|
| 1. タカン | 2. ILS |
| 3. SSR | 4. VOR |

〔3〕 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、次のうちから選べ。

1. 携帯する。
2. 無線局に備え付ける。
3. 通信室内に保管する。
4. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。

〔4〕 総務大臣は、電波法の施行を確保するため特に必要がある場合において、無線局に電波の発射を命じて行ふ検査では、何を検査するか、次のうちから選べ。

1. 送信装置の電源の変動率
2. 電波の変調度
3. 無線従事者の無線設備の操作の技能
4. 発射する電波の質又は空中線電力

〔5〕 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. その無線局の免許人にその旨を通知する。
2. 総務省令で定める手続により総務大臣に報告する。
3. その無線局の電波の発射を停止させる。
4. その無線局の免許人を告発する。

〔6〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どのようにしなければならないか、次のうちから選べ。

1. 直ちに届け出る。
2. その旨を報告する。
3. 再免許を申請する。
4. 免許状の訂正を受ける。

法

〔7〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
2. 無線通信は有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
3. 無線通信は長時間継続して行ってはならない。
4. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔8〕 次の文は、航空機局の運用に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空機局の運用は、その航空機のに限る。ただし、受信装置のみを運用するとき、第52条各号に掲げる通信を行うとき、その他総務省令で定める場合は、この限りでない。」

1. 航行中
2. 整備中
3. 離陸時及び着陸時
4. 航行中及び航行の準備中

〔9〕 無線局は、無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するときは、なるべく何を使用しなければならないか、次のうちから選べ。

1. 水晶発振回路
2. 高調波除去装置
3. 擬似空中線回路
4. 空中線電力の低下装置

規

〔10〕 次の文は、航空局の運用義務時間中の聴守電波について述べたものである。 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空局の聴守電波の型式は、とし、その周波数は、別に告示する。」

1. A3E又はJ3E
2. F3E
3. H3E
4. R3E

〔11〕 121.5MHzの電波の使用が許される場合について無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 電波の規正に関する通信を行うとき。
2. 121.5MHz以外の周波数の電波を使用することができない航空機局と航空局との間に通信を行うとき。
3. 気象の照会のため航空局と航空機局との間で通信を行うとき。
4. 時刻の照会のために航空機局相互間において通信を行うとき。

〔12〕 無線電話通信において、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、無線局運用規則の規定により応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに、次のどれを使用して直ちに応答しなければならないか。

1. 反復願います
2. 貴局名は何ですか
3. 誰かこちらを呼びましたか
4. 再びこちらを呼んでください